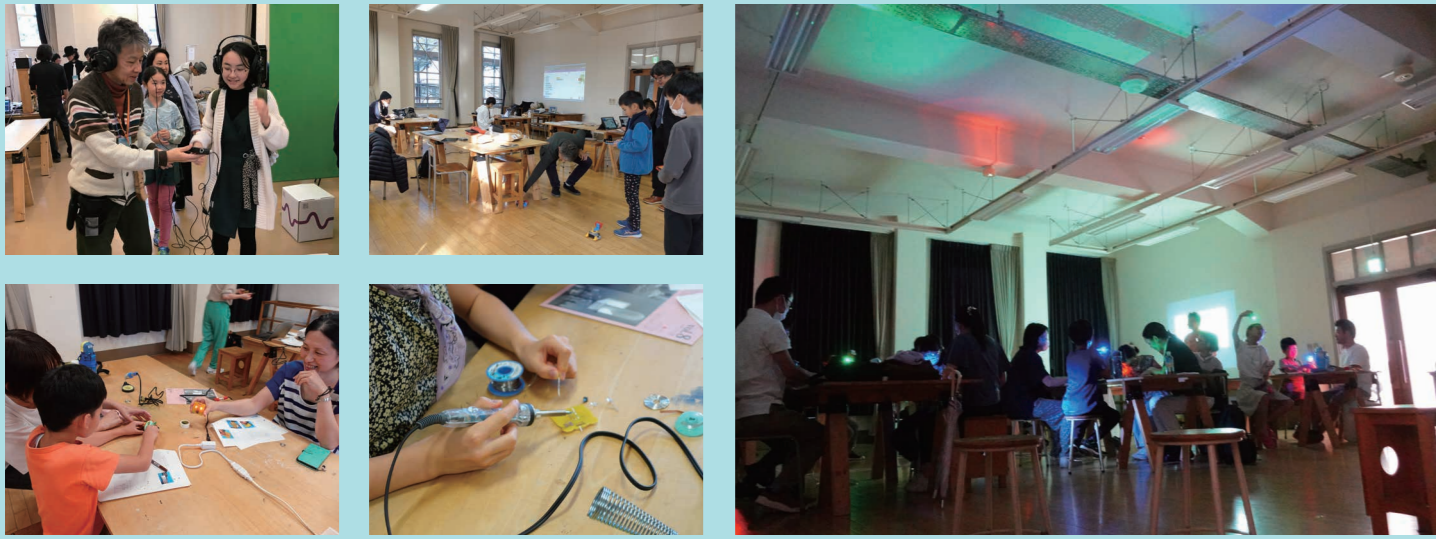


# 01 アートとテクノロジーが会える場所

「遠州織物」と称される繊維業が栄え、世界で活躍するメーカー等が本をかまえる浜松は、高度な「ものづくりのまち」として知られています。そんな浜松で、プログラマーとして働きながらオリジナルの電子楽器風ガジェットを制作・展示・販売したり、電子工作やプログラミングの講座を開催する長谷部雅彦さんに、活動のきっかけや経緯、想いや展望をお聞きました。



1. 「サウンドデザインファクトリー 2019 in Hamamatsu」で開催された fff の「音あつめワークショップ」 2. 「CoderDojo 浜松」の様子 3. 2023 年に鴨江アートセンターで開催した「はんだづけで目が光る顔パッチをつくる」 4. ワークショップオリジナルの基板にはんだづけする参加者 5. ワークショップで作った LED のパッチを光らせる参加者たち

## Maker Movement に触発されて

今を遡ること 10 年ほど前、テクノロジーを利用して個人がものづくりを楽しむという Maker Movement という活動がさかんになりました。私もそれに触発され、3D プリンタや小型マイコンボードを使って製作したオリジナルの電子楽器を、Maker Faire Tokyo (DIY の展示発表会) などに出品する活動を始めました。仕事でも電子楽器開発をしています。このような活動に魅了されたのは、独自のアイデアで楽器を作りたいという気持ちを常々抱いていたからだと思います。それ以前は、合唱団で歌ったり指揮をしたり、合唱曲の作曲活動をしていましたが、今ではものづくりという形で音楽に関わるようになっていきました。

## 鴨江アートセンターでの出会い

まだこの場所が「鴨江別館」と呼ばれていた頃、合唱団の練習場所としてよく来ていました。1990 年代の話です。鴨江アートセンターが開館し、10 年ほど前に「アート×テクノロジー」という企画に参加したことで、他のエンジニアや、アーティスト、デザイナーの方々と出会いました。彼らと一緒にサウンドプロダクト集団「fff (ふふふ)」を結成したり、「テクノタウンをつくる」(2018 年) や、「サウンドデザインファクトリー 2019 in Hamamatsu」などにも出展しました。

**長谷部雅彦**  
浜松在住の技術系会社員。作曲家、プログラマー、街の発明家、ファブラボ浜松会員。  
2012 年より Maker Movement に傾倒し、Maker Faire Tokyo には 2015 年から 7 回出演。「奇楽堂」の屋号で電子楽器風ガジェットを試作・発表している。第 9、17 回朝日作曲賞受賞。  
ウェブサイト (奇楽堂) : <https://kigakudoh.mystrikingly.com>  
YouTube : <https://www.youtube.com/user/jca03205>  
CoderDojo 浜松 : <https://coderdojo-hamamatsu.connpass.com/>

# 02 おおしまたくろう & 竹村真人インタビュー

2023 年度アーティスト・イン・レジデンスでの制作をふりかえって  
鴨江アートセンターでのアーティスト・イン・レジデンス (以下、AIR) で滞在制作を行ったサウンドマンのおおしまたくろうさん (京都拠点) と滞在中のおおしまさんと交流を深めた「ファブラボ浜松 / TAKE-SPACE」代表の竹村真人さんにお話を伺いました。

## お二人の出会いのきっかけを教えてください。

おおしまたくろう (以下、お) :  
最初は竹村さんから連絡をいただきましたよね。

竹村真人 (以下、竹) :  
2022 年に秋田市文化創造館からのお知らせで、おおしまさんのパフォーマンス「滑琴狂走曲 in 秋田! (カッキンラブソフィー・イン・アキタ)」の告知を見て、一気に興味を惹かれました。岐阜県で開催された「Ogaki Mini Maker Faire 2022」に出展されることを知り、おおしまさんのブースに会いに行きました。

お: そのあと、秋田でのパフォーマンスにも出演していただきました。実際に浜松に来て、竹村さんの運営する「ファブラボ浜松 / TAKE-SPACE」に行くところ、DIY な設営で、プリコラージュみたいなところがあって、自分の作品のテイストと似たものを感じました。

竹: プリコラージュというアートの語彙で表現されるのも、新鮮ですね。おおしまさんはエンジニア・マインドがありながら、アーティストとして活動していて、僕が目から見ると輝いて見えました。

## 浜松ではどのような交流があったんでしょう。

お: 滞在中ははじめの頃に、竹村さんやご家族から、浜松のまちの形状や、それぞれの地域の特徴を教えてくださいました。

竹: 天竜川の河川敷に行くと、そのまま国道 1 号線に乗って、太平洋の海に出て浜山湖・今切口にも行きましたね。ぱつと来ただけではわからない、浜松というまちの歪なところや、そこに潜んでいる課題なども伝えられたらという気持ちでした。



写真: 丹羽彩乃

## おおしまたくろう

PLAY A DAY (プレイ・ア・デイ) をモットーに、身近な道具や出来事を素材にした自作楽器の制作と、それらを組み合わせた少し不思議なパフォーマンスを行う。音楽や楽器の名を借りた遊びやユーモアにより、社会の不寛容さをマサージュする。



AIR 初日に自己紹介をかねてパフォーマンスするおおしまさん

## AIR が終わってからも、交流は続いていますか。

竹: 2023 年 12 月に浜松科学館で開催した「Hamamatsu Micro Maker Faire 2023」に、おおしまさんにも出展していただきました。おおしまさんには、技術をアートの視点で活用する姿勢や、ないものは作ってしまうという DIY カルチャーを持ち込んでほしいと思っていました。結果的には狙い通りで、メイカーフェアとアートの相性の良さが見えてきました。

お: 美術ではない、別の定期があてられることは、アーティストにとってもメリットがあると思います。

竹: 個人的には、鴨江アートセンターの AIR にも、メディア・アートやサウンド・アート系のアーティストが増えるとうれしいなと思います。

お: 以前にフィールド録音やサウンドを扱う作家が AIR に参加されていたので、じゃあ自分も応募できるかなと思いました。サウンドに関わる作家はもちろん、美術の枠組みを超えて活動を広げたいアーティストの応募が増えるといいなと思います。



## 竹村真人

「ファブラボ浜松 / TAKE-SPACE」代表。ファブラボの運営の他に、プロトタイプ制作者として、アーティストや企業と作品やプロトタイプを制作することを生業とする。近年は海外にファブラボやスタートアップセンターの設立支援にも尽力。

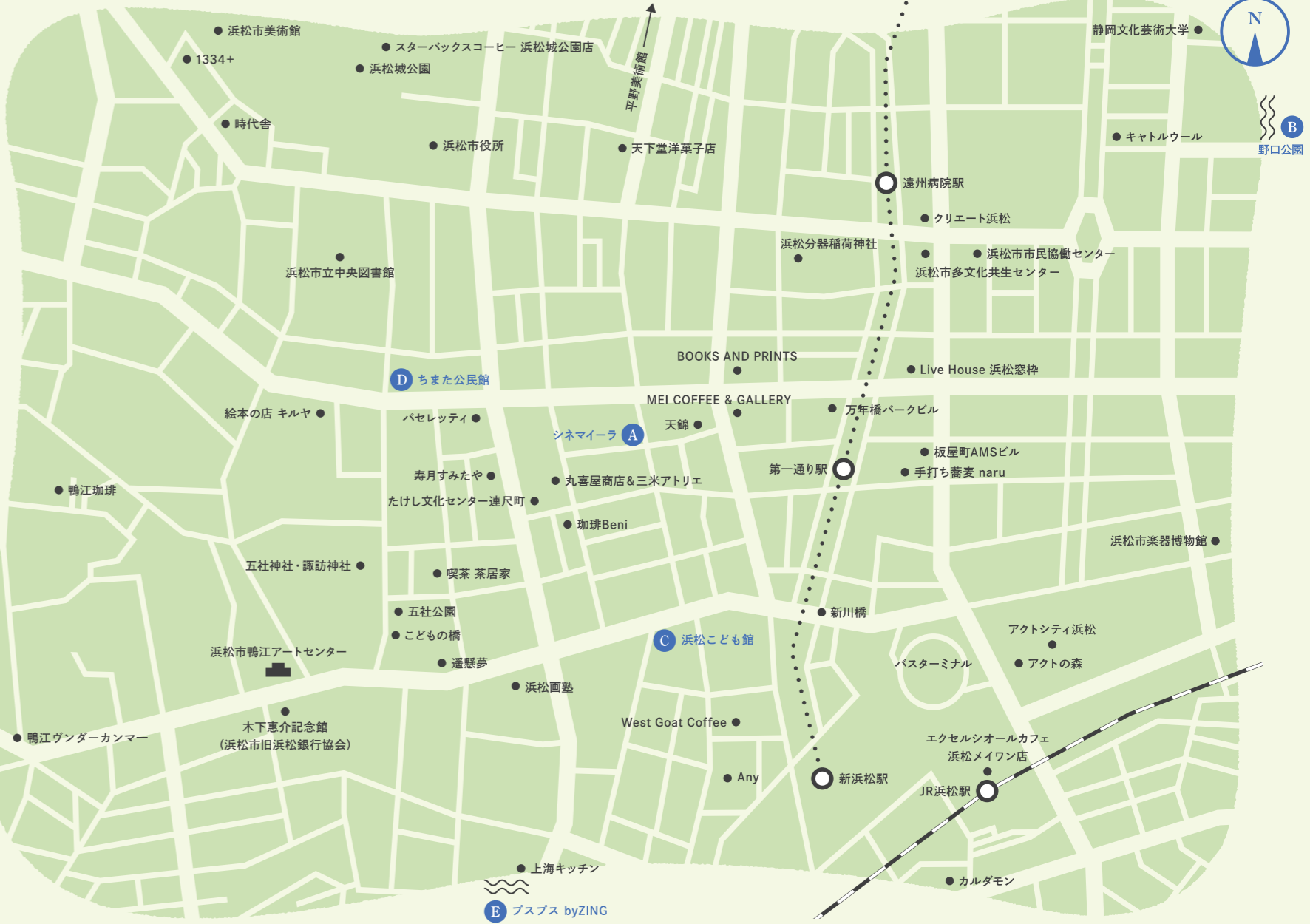


※当インタビューのロングバージョンを、鴨江アートセンターのウェブサイトにてご覧いただけます。

# 03 GOKINJO MAP つくれる場所

GOKINJO MAP では、鴨江アートセンターから歩いていける範囲で、当館ゆかりの皆さんにおすすめスポットを紹介してもらっています。今回は「つくれる場所」の紹介です。地図にはこれまでに紹介したスポットも載っています。気になる場所をみつけたら、ぜひ足を運んでみてください。

- 1. 自己紹介をお願いします。
- 2. 紹介したい場所について教えてください。
- 3. そこですんなりものをつくることができますか。エピソードを教えてください。



**シネマイーラ A**  
榎本雅之  
ウェブサイト: <http://cinemae-ra.jp/>

1. 映画館勤務半世紀超えの映画館バカ。東映勤務 35 年、シネマイーラ 15 年。2. シネマイーラです。浜松市内唯一のミニシアターとして、世界の独立映画やアート系映画等を主に上映しています。3. 昨年で開館して 15 周年。大手シネコンでは触れられない、不思議で奥深いミニシアター系映画の世界との、特別な出会いのチャンスをつくっています。

**野口公園 B**  
木下琢朗

1. 彫刻家。1977 年静岡県生まれ。東北芸術工科大学で彫刻を学ぶ。大学卒業後、3 年間、伝統彫刻を修行。2. 野口公園です。静岡文化芸術大学の南側に位置しています。3. 公園の落ち葉や園路に転がる木の実を収集して自然の造形物を作ることができます。公園内には小さなジオトープもあり、生き物をモチーフにして創作していました。

**浜松子ども館 C**  
菅澤薫  
Instagram : [@sugasawa.kaoru](https://www.instagram.com/sugasawa.kaoru)  
X : [@runrun1114](https://twitter.com/runrun1114)

1. 2019 年より浜松在住。埼玉出身。保育者の卵を育てる傍ら、テンペラと油彩の混合技法で人物画を描いています。2. 浜松子ども館 7 階「ワークショップ」室です。浜松子ども館にある子どもの造形ワークショップ用の部屋になります。日当たりもよく、ペランダもあります。3. 画材や子ども用の椅子や机があり、子どもたちと一緒に何か作りたくなります。0-2 歳児向けの「はじめて」シリーズのワークショップがおすすめです。

**ちまた公民館 D**  
高林洋臣  
ウェブサイト: <http://cslets.net/>

1. 認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツのスタッフです。多様な人が共生できる社会を目指して福祉やアートの活動をしています。2. ちまた公民館。私設・私営の公民館です。いる人とおしゃべりしたり、誰かのイベントに参加したり、自分でイベントを企画したりできます。3. プラモデルをつくる会があります。手を動かしながらゆるくおしゃべり。つくりたいまま積まれているプラモを減らしましょう！

**ブスブス byZING E**  
野嶋京登

1. 浜松生まれ浜松育ち！大学時代は下北沢に住み、サブカルチャーを学び、現在は浜松市職員！地方公務員アワード 2023 受賞。2. ブスブス byZING です。成子坂近くのセブンイレブン横にあるビルに入居しています。館内は、タイムスリップしたかのようなエモい感じで、ワクワクします。3. ZINE というオリジナルの小冊子を作ることができます。自分の思い出など内容は千差万別！リソグラフで印刷もできるのでみんなに配布もできるよ！